

編集 後記

- 河原先生より編集委員長を引き継ぎました。神皮発刊にあたり多くの先生方、編集者の方、広告の協賛を頂いた会社の方に感謝致します。これまでの伝統をしっかり継投していけるようにがんばります。さて、このところコロナや異常気象による災害などの暗いニュースばかりでしたが、オリンピックが開幕し気分は一転、ただいま熱血応援中です。がんばれニッポン！ (高橋さなみ)
- 今年ほどトピックスに偏りがある事は未だかつてなかったかと思います。文章を書く時の内容もコロナ一色です。生活が全く変わってしまいました。世界の誰もがその影響を受ける一大事です。歴史の教科書に載る事もそう遠くはない事でしょう。そんな状況下でもLife goes onです。打ち勝たねばなりません。笑って懇親会でお会いできる日を待ちかねます。 (天野隆文)
- 今期から、広報・編集委員を拝命致しました横浜相鉄ビル皮膚泌尿器科医院の江川と申します。優秀で御経験豊富な先生が大勢いらっしゃる中「神皮」の編集に携わることが出来ます事を大変光栄に思っております。その第1号がコロナ禍でいつもとは異なる構成となりました。振り返ってみればいい思い出になるとは決して申しませんが、貴重な経験として残るものとなると確信しております。 (江川ゆり)
- 通勤も徒歩数秒なので、このコロナ禍、外出と言えば週1回のスーパーへの買い出しくらいです。爽やかな休日の朝、スーパーまで歩く道すがら、今日はなんてすがすがしいと思ったら、マスクをしていませんでした。どうりですれ違う人の視線が痛かったです。 (岡澤ひろみ)
- 東京オリンピック・パラリンピックは無観客の形で開催されました。テレビ観戦ですが、やはり始めれば、観てしまいます。多くの選手の躍動笑顔に感動しています。メダル受賞者を含め全てのオリンピックに感謝し、日本を応援したいと思います。頑張れ！ 日本！ (加藤正幸)
- 賛否両論の中、東京オリンピックが開幕。無観客開催時のプロ野球、大相撲同様、競技で生じる音、選手の声などが聞こえるのも悪くありません。選手達はあえて口にしません(出来ない?)、無観客をどう感じているのでしょうか。盛り上がり欠けて残念ですが、関係者だけが見守り余計な視線や雑音がない中すすむ競技時間は、むしろ選手にとって好環境かもしれません。 (河原由恵)
- 思いがけず前立腺瘤になってしまい、4月に横浜市大でダヴィンチ手術を受けました。2期のはずが術後病理で3期と判明し、落ち込んでおります。そんなわけで、しばらく委員会を欠席しておりました。次からはまた参加いたしますのでよろしくお願いたします。 (小島雅彦)
- こんなご時世ですが、今年も4つの学会に発表をします。最近は完全Webより現地併用のハイブリッド型に移行しつつあります。コロナが終息しても同じ様式が継続すると思われませんが、やはり現地で緊張して聴くのが一番良いかと思う今日この頃です。 (鈴木 琢)
- コロナ禍がまだまだ続くなか、皆さんはどのようにおすごしでしょうか。なにか楽しいことをお知らせしたいと思い、料理について書いてみました。美味しいものをたくさん作って食べると元気が出ますよ。 (根岸 晶)
- 紆余曲折の末、57年ぶりの東京オリンピックが開幕した。ニュースでは連日、メダル獲得の心沸き立つような朗報と、コロナ感染拡大の深刻な状況が同時に伝えられて、気持ちが大きく揺れ動いて船酔いしそうな感覚に襲われてしまう。いったい今後の日本は、世界は、どんな港へたどり着くのだろうか？ まるで全く先が読めない厳しい荒海に放り出されたような気がする。 (馬場直子)
- いよいよ近隣の茅ヶ崎、藤沢でもお店で飲酒ができなくなりました。さみしいので家で沢山飲んでいます。 (真鍋泰明)
- 旅行に行こうと旅館やホテルを予約する時、旅行会社のサイトの評価をもとに選びます。いつもと違うレストランを探す時、やはりネットの評価を参考にします。そして気が付くと、自分のクリニックも社会から評価され、受診するか否かを判断されているのです。ネット社会で生きていくためには、強い気持ちを持ち続け、自分の信念を貫き、自分らしい診療に邁進したいと考えています。 (山川有子)
- アーサー・C・クラークは同性愛が違法であった英国からスリランカに移住し、そこで『2001年宇宙の旅』をスタンリー・キューブリックと創作。難解な映画のネタばれを怖れたキューブリック監督はクラークがいないのを良いことに、ゲラ刷りを編集者に戻さず小説版の発売を遅らせたそうです。一度も会わずに校了まで行けそうです。 (渡邊 憲)

神皮 (第28号)

2021年9月1日発行
発行 神奈川県皮膚科医会
発行人 鎌田英明
〒235-0016 横浜市磯子区磯子6-38-18
電話 045-753-0445
制作 かまくら春秋社

■表紙のことは
逗子市の「まんだら堂やぐら群」
鎌倉と逗子をつなぐ鎌倉時代につくられた国指定史跡名城の切り通しの途中にある場所です。初夏と秋にのみ公開されるのであまり知られていないと思います。
検索すると日本のカップドキアなんて大袈裟に書かれていたりします^^。撮影の3日後アド街で放映されたのでご覧の方もいらっしゃるかもしれません。 (天野隆文)